

★10月号の特集は、主任さんは走る (17頁～)

◎実践：走り続けた8年間～現場の思いに耳を傾けて～(25頁～)

大阪府松原市・みつばち保育園の西井さんは、●主任の仕事の一番大切なことは、『保育を見る』『子どもを見る』ことだと思う。●しかし、給食費や延長保育料の徴収事務の負担も。●八年間の主任経験のなかで、職員とともに試行錯誤しながら保育をつくる楽しさを感じることができましたと実践報告。

◎実践：一人でがんばらない 主任一チーム「ネクスト」とともに(30頁～)

名古屋市・けやきの木保育園の長谷川さんは、●主任二名を含む六名で「けやきの木ネクスト」を構成し、その年の保育の柱について中心になってグループ討議を運営したり、「おたより学習会」や、その時々々の園としての課題や、職員たちが悩んだり、知りたいと思っていることを、ネクスト会議で話し合い、自分一人ではできないものも、ネクストが主任といっしょに手立てを探っていけるような職員集団の支え合いの核になっている。●園の方針や実践の積み重ね、職員集団づくりといった主任の役割についても「みんなで考えあうもの」という気持ちで、主任以外の職員のなかに芽生えてきているのではないかと思うと実践報告。

◎小論：西川由紀子さん(京都華頂大学)の主任さん、自分のこともたいせ

つにしてね！(36頁～)●主任の仕事は多彩、なんでも屋的な用事も多い、子どものケガや病気への対応も、職員が気持ちよく働ける勤務体制づくりは神業。●突発的な仕事で、日々の仕事が片付かずに残業に。誰にも代わってもらえない仕事の束を抱えつつ、職員も保護者もきもちよく過ごせるように、にこやかに対応している主任さんたちが目に浮かびます。●みんなのことを大切にする主任が、気持ちよく働くためには、自分のことも大切にすることも必要だと思うのですと。

【特集を読んで】保育園の主任は、園の要、縁の下の力持ち、若手と先輩職員の結び役、相手の思いを傾聴できる人、リーダーシップをとれる人、信頼され頼られる人、子ども、保護者、職員、職員の家族のことまで気にかけてくれるスーパーマン。でも、生身の人間、保育園だけでなく、家庭での責任もあるし、いつ心を休めることができる？自分の時間はある？などと心配な存在です。主任の仕事あれこれ(19頁の横書)や主任の仕事の割合と、負担に感じる度合いの高さ(41頁の表)を見ると、専任の事務職員や用務職員、フリーの看護師などがいたら任せられる仕事もたくさんあるようです。これまでの保育園の基準を見直していかないと、貧しい保育の基準のシワ寄せが、主任さんを走らせているのではと思います。

★小特集は、コロナ禍で公立保育所・保育者たちは (44頁～)

→8月8日のWEB合研での報告が文章で。いまこそ保育の最低基準の引き上げを！

9月3(木)・4(金)・5(土) WEB合研を再配信！！

➡視聴料は無料です。多くの方にお知らせください。

【視聴方法】 ※パソコンで見ることをお勧めします

◎「全国保育団体連絡会」の検索ワードで全保連のホームページに入り、

You Tube合研チャンネル★はここをクリック！ をクリック

⇒**WEB合研の画面** をクリック！

◎スマホでは、右のQRコードから視聴できます。

※スマホで見える場合は、Wi-Fi環境でないと、通信料が高額になります。また、充電が十分でないと最後まで見る事ができないかもしれません。



『ちいさいなかま』を通して保護者、保育者がつながろう

保育者の「学びたい」「語り合いたい」思いがかなえられない日々が続いています。

同じ場所に集うことができないからこそ、同じ思いをそれぞれが思い出し、考えてみましょう。保育者や保護者になった時の思い、子どもや保護者とのエピソード、これまでのうれしかったできごと、保育者同士で語り合ったこと、そして、合研の場で分かち合ったことなどを。そして、それぞれの場で、可能な方法で学びを続けていきましょう。厳しい時だからこそ、つながりと学び合うことを失ってはなりません。それこそが保育者としての成長を支え、子どもの育ち、保護者の生活を支えるのです。

私たちには『ちいさいなかま』があり、『ちいさいなかま』を通して、地域をこえて保護者が、保育者がつながることができます。再び集える日まで、それぞれの場所で、目の前の子どもと保護者のために、身近な仲間と力を合わせて、自分たちの保育を、子どもと保護者の毎日を守っていきましょう。コロナ禍で実感した保育環境、条件、処遇をよりよりものにしていくために、声をあげていきましょう。 (第52回全国保育団体合同研究集会(WEB集会)基調報告より抜粋)

➡あなたのお友だち、保護者の方に『ちいさいなかま』の購読をお勧めください。

見本誌をご請求ください。メール:center5234@rose.plala.or.jp

FAX 092-781-1995